Rev. 2 2015.01.05



Express5800 シリーズ iStorageNS シリーズ Java7 Update51 以降適用時の 例外サイト設定手順書

■ はじめに

Express5800 シリーズ/iStorageNS シリーズにおいては、以下の BMC(Baseboad Management Conroller)およびサーバ管理ソフトウェアのリモート管理機能に Java ア プレット/アプリケーションを使用しております。

- EXPRESSSCOPE エンジン
- EXPRESSSCOPE エンジン2
- ・ EXPRESSSCOPE エンジン SP 2
- EXPRESSSCOPE エンジン3
- ・ EXPRESSSCOPE エンジン SP 3
- EXPRESSSCOPE エンジン3 (ft サーバ)
- ESMPRO/ServerManager Ver.5

一方、Java7 Update51(7u51)以降、セキュリティ機能の強化が図られており、これらを適用した端末から上記リモート管理機能を使用しようとした場合に制限されてしまう場合があります。

継続してリモート管理機能を使用するには、Java コントロール・パネルにてセキュリティ設定の変更(接続している装置または ESMPRO/ServerManager をインストールしているコンピュータの IP アドレスを例外サイトとして登録)が必要になります。

本手順書は、例外サイト(Exception Site List)への登録手順について記載しています。

【対象コンピュータ】

以下のバージョンの Java がインストールされているコンピュータ。 • Java 7 Update 51 (7u51) 以降

【改版履歴】

Rev.	日付	主な改版内容
1	2014/01/17	• 初版制定
2	2015/01/05	・ESMPRO/ServerManager Ver.6 への対応手順を 追記

■ はじめに	2
1 例外サイト・リスト設定	4

<u>目 次</u>

1 例外サイト・リスト設定

以下、Web ブラウザを通じて操作を行うコンピュータ上での手順になります。

接続対象の装置に搭載されている EXPRESSSCOPE エンジン EXPRESSSCOPE エンジン 2 EXPRESSSCOPE エンジン SP2 EXPRESSSCOPE エンジン 3 EXPRESSSCOPE エンジ SP3 EXPRESSSCOPE エンジ 3 ft の IP アドレスを、また

ESMPRO/ServerManager

については、インストールしたコンピュータの IP アドレスを Java の例外サイト・リストへ追加設定します。以降の手順説明では、これらの IP アドレスを「接続対象の IP アドレス」と総称します。

【手順 1】

Java がインストールされたコンピュータのコントロールパネルより Java を選択し、 Java のコントロールパネルを開きます。

🛃 Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
バージョン情報服	
Javaコントロール・パネルについてのバージョン情報を表示します。	
	バージョン情報(<u>B</u>)
ネットワーク設定	
ネットワーク設定は接続時に使用されます。デフォルトでは、JavaはWebブラウサ 用します。これらの設定を変更できるのは上級ユーザーのみです。	のネットワーク設定を使
	ネットワーク設定(N)
インターネット一時ファイル	
Javaアプリケーションで使用されたファイルは、次回すばやく実行できるように特別 れます。ファイルの削除や設定の変更を行えるのは上級ユーザーのみです。	別なフォルダ内に格納さ
ブラウザのJavaが有効になっています。 「セキュリティ」タブを参照	
ОК	取消 適用(<u>A</u>)

【手順2】

セキュリティタブを選択し、「サイト・リストの編集(S)..」ボタンを押下します。

🛃 Javaコントロール・パネル 📃 📼 💌
一般 更新 Java セキュリティ 詳細
✓ ブラウザで Javaコンテンツを有効にする(E)
セキュリティ・レベル
- 非常に高
□ 高(最小限の推奨)
- 中 信頼できる認証局の証明またより激問はれる、Javaで知ケーション/仕事行を許すされます。
15株式CCの565517000511-07日(CCの9880)C1(の0000/フククク フヨンは央目)を511を51-1C1(なら。
例外サイト・リスト 次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可され ます。
「サイト・リストの編集」をクリックします… アイテムをこのリストに追加します。 サイト・リストの編集(S)… り
セキュリティ・プロンプトの復元(R) 証明書の管理(M)
OK 取消 適用(<u>A</u>)

【手順3】

以下の画面が表示されるので、「追加(A)」ボタンを押下します。



【手順4】

場所にhttp://接続対象のIPアドレスを入力して、「追加(A)」ボタンを押下します。

▲ 例外サイト・リスト
次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。
場所 http://192.168.1.1
追加(A) 削除(R) 「能にプロトコルおよびHTTPプロトコルは、セキュリティ・リスクと見なされます。 可能な場合はHTTPSサイトを使用することをお薦めします。
OK 取消

チェック:

80 以外のポート番号を使用している場合は次のようにポート番号も含めて入力します。 http://接続対象のIPアドレス:ポート番号

例) ESMPRO / ServerManager Ver6の場合 http://192.168.1.1:2112

ESMPRO/ServerManager Ver.6 ではデフォルトのポート番号として21112が使用 されているため、上記の例のようにポート番号を指定する必要があります。 ポート番号の確認については「ESMPRO/ServerManager インストレーションガイ ド」の 付録 2 利用ポート/プロトコルを参照してください。 【手順5】

http の場合、以下の画面が表示されますので、「続行」ボタンを押下します。



【手順6】

続いて、場所に https://接続対象の IP アドレスを入力して、「OK」ボタンを押下します。

🔊 例外サイト・リスト	x
次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの後に実行を許可されます。	
場所	
http://102.168.1.1	-
道加(A) 削除(R) 「追加(A)」 「削除(R) 「「削除(R)」	
一 可能な場合はHTTPSサイトを使用することをお薦めします。	

チェック:

443 以外のポート番号を使用している場合は次のようにポート番号も含めて入力します。

<u>https://接続対象のIPアドレス</u>:ポート番号

例) ESMPRO / ServerManager Ver.6 の場合 https://192.168.1.1:2112

ESMPRO/ServerManager Ver.6 ではデフォルトのポート番号として21112 が使用 されているため、上記の例のようにポート番号を指定する必要があります。 ポート番号の確認については「ESMPRO/ServerManager インストレーションガイ ド」の 付録 2 利用ポート/プロトコルを参照してください。 【手順7】

例外サイト・リストに入力した接続対象のIPアドレスが表示されていることを確認します。問題なければ、「OK」ボタンを押下します。

以上で設定は完了です。

」 Javaコントロール・パネル	
一般 更新 Java セキュリティ 詳細	
✓ ブラウザで Javaコンテンツを有効にする(E)	
セキュリティ・レベル	
□ 高(最小限の推奨)	
- 中 信頼できる認証局の証明書により識別されるJavaアプリケーションは実行を許可され	れます。
例外サイト・リスト 次に示すサイトから起動されたアプリケーションは該当するセキュリティ・プロンプトの ます。	後に実行を許可され
http://192.168.1.1	、160編集(S)
 セキュリティ・プロンプトの復元(R) 証 	明書の管理(M)
OK 取消	í 適用(A)

保護紙

(このページは意図的に空白にしています)